

おしん図書館

No.64

発行
代
青木 和子
松戸市総台 830-160
TEL 367-15384

東葛地区の図書館

を考える会・開催

10月20日(土) 松戸・女性センター
(記録 吉原里絵)

ーにおいて、交流会を開催
しました。東葛地区市町、
り市町の図書館に関する
市民運動をするグループの
人たちが集まりました。

始めに、松戸市立図書館

本館を見学してもらい、

会場に戻ってから感想を

述べてもらいました。その後

ビデオ上映、それぞれの会の

活動報告、自由に意見
交換をしました。

松戸市立図書館本館

を見学して……

建物について

・4万人都市の中央館に

しては、手狭。その分、分館

19館によって補われていると

考えられる

・本館がどれくらい規模、

人口を想定して機能している

のか知らないが、多く分館が

あっても、中央の役割は変

わらず軽くならないはず。



その分、職員の仕事、市民が
受けるサービスに負担がいく
のであろう。

・児童室が他の市町分館

並みの狭さ。絵本の表紙を

見せておく棚のスペースが

なかったり、お話の部屋が

別室にあるのが非常に残念

・書架の間を通る時、本をと

り出す時、人にぶつかるほど

狭い。

・分館の一つ、小金原と比較し

面積は10倍なのに登録は2

倍である(配布資料より)

本館の貸出効率がいすぎる

ように見える。ただ学習室

参考図書コーナーが各フロアずら
りあり、多目的な利用があるせいも
とれる。

サーブスに「いて

児童書の選書の質が

悪い。全集、ダイジェスト版など

手にする気にならない本ばかり

ある。背表紙ばかり並んで

子供の興味をひくレイアウト

でない。工夫が感じられない。

・コピー20円(一枚)は今どき高い。

検索端末が少なすぎる。質も

低い。キーワード検索など工夫が

ないのでは。

その他にも、一階に駐車スペース

があったのを見て「当初から、

図書館目的の建物なのか」と

聞かれたり、「あのままで議員

かなぜ積極的に動かさないのか」

「近隣の区の新築図書館を

見学したばかりで、この落差

にショックを受けた」

「なんとかしなくちゃいけない時期

にきていますね」「大変ですね」

同情します、頑張ってください

多くの図書館を知る肥えた

目での意見は、参加した会員

にずっしりと響きました。

この後、おい図書館で行って

いる「ビデオ上映会」で上映して

いる「図書館へ行こう」を見て

もらいましたが、途中、参加者

より、「全て見る必要はない」

との意見があり、打ち切り

ました。

各会の活動紹介

我孫子市

「市民がつくる図書館の会」



長年使われてきた市民会館

内の図書館から、平成14年完成

予定の「生涯学習センター」内に

公民館とともに移ることに、

なった。図書館が新設される

ことで、会の長年の活動の

成果が見えてきた。

今後の課題は、図書館の

運営には、これまでの一般行政

職の館長ではなく、専門的

知識と経験をもつ専門職

の館長が必要と考え、行政

側に働きかけてゆくことである。

これまで市長に申し入れをし、

理解を示されている。議会、

教育委員会には難色を示

されているので一層の働きかけ

が必要となる。

また会員について、60名ほど
いるが、活動できる人が限
られてきたため、会の整理を
する時期と考えている。



柏市

「柏図書館友の会」

この一年間会としての活動は
休眠状態。それとは別に、
会員の一人の石本さんによ
る「図書館大好き人間たち
の集まり」の活動報告が
行われた。

毎年行われる「手賀沼

ジャズフェスティバル」で「図書館
についてのアンケート」を行っ
た。2回目となる今年も、図書

館から本をもらい、それをアン
ケートに協力した人あげる、

おまけをつけ、56人もの協力が得ら
れた。(集計結果は青木さんの
もとじもある)

それと別に「図書館建設計画策定

委員会」(市職員6名・図書館

員6名・一般利用者3名)に

よる、図書館候補地の調査を

行い、それは市に提出する予

定。サビス構想も、市職員

が管理職クラスで行うと言

うが委員会で行うように働

まかけていこう、と考えている。

沼南町

「沼南の図書館を考える会」

ち年前より、図書館建設の
構想はあるが全くめどが立たず



市も、町開発にかかわる都市
整備公団からも「それについ
て聞かないでくれ」と言われ
ている。

その一方で公民館内の図
書室が改装される。一見

「図書館風」のため、これで
町民・議員が満足される

困る。そんな中でも新たに
4人の議員が会員となり、

「図書室と図書館の違い」
を勉強してもらっている。

つねに蒙啓活動を行っている
状況に疑問を感じている。

流山市

①「図書館大好き流山」



「**森の図書館**」ができたことで

利用者が増えた(全体の4割)。

市は、満足している。しかし

蔵書数・建物・交通アクセス

周辺の治安についてなど、

充分な図書館であるかは疑

問。会の活動は会合のたび

々違うメンバーが集まり、先に

進むのがむずかしいが、それ

でも市民の意見をアンケート

をとることで市に提出したい

と考えている。

②「**東(図書館ボランティア**

グループ)

図書館が開催した講座

の受講生により充足。

図書館側からの働きかけで作

られたため、活動が職員への

仕事の肩がわりになっている

ところがある。

「やりがい」と職員との関係が

今後の課題。

野田市

「**みんなの図書館を考える会**

市に対しては、利用者の声をきく

「**市民懇談会**」を開いてほしいと

言っているが、地味な活動のため

か、聞いてくれない。

学校図書室との連携のため

臨時職員という形ではある



が市内の小学校23校中

18校に学校司書がおか

れた。兼任の教員でない

専任の職員がおかれること

で、子どもたちの集まる場

所に、図書室がなった。

来年度からの15ヶ年計画

の原案に「**図書館**」の項

目が全くなかったため、市

に働きかけて市の基本

構想に入れることになっ

た。どこまで、実現できる

かわからないが、文字として

残すことは重要である

と感じた。会員で活動して

きる人は少ないが、いざという

時集まれる行力はあると考えている。

松戸市

「おい図書館」



図書館へ行こう、ビデオを使って、市民センターなどで上映会を行っている。4、5人の参加者でも行っているが、一回に一人ぐらいは、会員が増えている。

昨年11月に常世田さん

(浦安市立図書館館長)

の講演会で100名ほどの

参加者を集めた。以前、音

楽会を開いたがその時の参加者とは全く違うため、図書館に

ついて考える人を集める難しさを感じている。

9月議会で市が中央館建設の第一候補地をあきらめた

ことで、大きなショックを受けている。署名・陳情も考えた

が今後の市との関係も考え、市には要望書を出し、これまで

どおり市民の啓蒙としてビデオ上映会を行っていく。



自由討議

本館見学と、松戸市が

図書館建設候補地を

あきらめた、という話のイン

パクトのためか、松戸市の

図書館に対する姿勢に

ついてが話題の中バツ

なった。

用地をあきらめたといえ

建設は行うと言っても、

具体的な計画が見えな

いこと、現状のサービス向上

についての市民の意見を

とり入れたがらないこと、

参加した全員が声を揃えて
批判したのが資料の中の

「図書館費」に含まれる

「おはなしキャラバン関係経

費」の高さについて（

6千3百4万4千円）である。

「市民感覚で見ておかし

「これでは、ボランティアや文庫

活動が育たない

「松戸の真似をしてはなら

ないと感じる

「おはなしキャラバン」について

見直す必要があるかもしれ

ないが、それよりも、まず

市民に図書館の現状をまず
わかってもらうことが先なので、
という意見がだされた。

「あの図書館では子供を育てら

れない、もう一度来たいと思

えない、それを市民にわかって

もらえるよう、具体的には

ビデオ上映会は続けていく

べき。

市民のための図書館なの

だから、一部の危機感を

持つ人だけで話を進めて

いくのは、よくない。

5年、10年でなく30年後を

考えた活動にしていけないと。

参加して……

柏の人の言葉を借りると

交流会は、

図書館大好き人間の集まり

であったため、多くの刺激的

な意見が出ました。

沼南町の会の合言葉の

「全国で閉古鳥の

鳴く図書館はない」を考

えると、多くの市民の意見

を市に伝えられるか

重要だと思いました。

来年の開催は未定ですが

また新たな活動を報告でき

る機会をぜひほしいと思います。